

巷に昨今喧騒されている大きな問題。出生時戸籍に記載された性別とは違う生き方があり人それぞれ。パパ友と孫のランドセルを買いに行った店内は花畑のごとく色とりどり。単純に男の子は黒、女の子は赤の既成概念に囚われているパパは戸惑いつつ店員に聞く。「男の子用と女の子用とは区別していません。好きな色を選ばれます」とのこと。通学団の児童を後ろから眺めればほんと色とりどり。
(名華女)

先日、男女共同参画社会に関する意識調査アンケートの作成会議に出席した。問1が「あなたは女性ですか？男性ですか？」そこで意見が出た。「LGBT的マイノリティの人には不愉快な質問ではないか？」と。性別の違いから何かしらの意見を求めるの問いかけなのだが…さまざま意見が出たが結論が出ぬまま散会となったのであった。
(すみちゃん)

少数派はとかく受容されにくい。女性ドライバーや男性保育士に違和感が無くなったように、LGBTの認知と理解の浸透ができたらしい。個々が生きやすい選択のためにも自己発信していこう。みんなが頑張ってみたい。このことばが頭に浮かぶ。
(マカ)



男女に分けることを差別と感ずることがあるなら、LGBTもどれかに分類することを差別と感ずる人もいるのでは？と思う。自分の属性は大事だけど、何かに当てはめなくてもいい寛容でいい加減な世の中になれば、きつと色々なことが解決するんじゃないかなあ。
(チャーミー)

小学生の時にテレビで見て大笑いしたキャラクター。学校でもモノマネしてバカ騒ぎ。今、同じことをしたら別の意味で騒ぎになってしまう。楽しかった思い出がある時を境にあまり好ましくもないものになってしまった。頭では分るが、少々寂しい。
(俺)

△ハモーン博士のまとめ

Lはレスビアン、Gはゲイ、Bはバイセクシャル、Tはトランスジェンダーでセクシャリティを表現した言葉じゃ。最近よく聞くようになったと思わなかね。約8%の人がLGBTを始めとする性的マイノリティであるという統計もある。この人たちの生きづらさを無くすには、法的な括りや人の感情など、変えていかねばならない課題は多い。まずは正しい理解者を増やしていくことじゃな。



問合せ先
おおくち男女共同参画懇話会 (地域協働課)
☎ 95-1691

Be Ambitious

町内にお住まいの
vol.292 20代の皆さんがリレーで登場!

羽ばたけ！教え子

前田 晋吾さん (下小口) H1・5・8生



ロボット大好き

小学生のときからロボットに興味があり、中学校2年生から自分でパーツを購入してロボットを作るようになりました。ロボットコンテストに出場したくて高専の工学科電気電子専攻に進学。ところが、ロボコン部は予想をはるかに超えて厳しい部でした。アイデアを出し、試験機での模索を経て改良を重ねる地道な作業がとてつもなく大変。裏の苦労がさまざま、最初大勢入った新入生が瞬く間に減っていききました。自分も続かず退部。水泳部に入り直しました。

高専の寮生活はとても楽しく、一緒に勉強したり、トラップ大会をしたりグラウンドで遊んだり。面倒見の良い先輩たちとの交流が特に楽しかった思い出です。

水泳のコーチに
保育園の年少から水泳を始め、中3までウィル大口スポーツクラブで水泳を習いました。その後も20歳まで水泳の選手。大学3年のとき現役を引退し、古巣であるウィル大口でバウトを始め、そのままコーチと一緒に水泳を習った2つ年上の兄は中学の教師になり、水泳部の顧問をしています。

今年初めてクラブの生徒の全国大会の引率をし、雰囲気は圧倒されました。将来の夢は、ずばりオリンピックに出るような選手を育てることです！



▲ウィル大口主催「ロボットプログラミング講座」にて